

放射線医学総合研究所見学会を開催

2014.11.26



研究所の事業等概要説明を受ける参加者

11月26日(水)、本協議会主催により千葉市稲毛区にある独立行政法人・放射線医学総合研究所(放医研)見学会を実施し、県内企業からの参加者を中心に総勢21名(含事務局関係者)が今回の見学会に参加しました。同所は東海村のJCO事故解析を担当したことで有名な存在であり参加者の関心も一段と高まっていました。生憎の風雨の中での見学会となり、広い敷地内を徒歩移動でやや難渋しましたが放医研側の懇切なご配慮の許、順調に見学予定を全うすることができたことが特筆されます。

当日は到着後、放医研のご好意にて(同所の食堂利用が可能となり)食堂にて昼食を摂った後、13時30分からプレゼンルームにて研究所の概要や産学連携、知財管理など多面に亘る同所の活動実績等が、同所企画部研究推進課・上野課長他からDVDとプロジェクトを用いて紹介されました。特に重粒子線によるがん等への治療に対する標準化や当該技術の広範な水平展開など、今後とも生活の質(QOL)の向上を指向した医学への継続的貢献が期待されました。

引き続き、全員が2班に分かれ、各分野の専任研究者のご案内で画像診断棟と重粒子線棟を交互に見学しました。



画像診断棟にて/1班

画像診断棟では分子イメージング研究を柱とした世界最高のPET(陽電子放出断層撮影)基盤技

術の研究開発を担う研究者の説明を聞いた後、実際にPET用分子プローブの開発現場をガラス窓越しに見学す



画像診断棟にて/2班



ることが出来ました。説明者は、これらの開発成果としての製造技術を標準化し、さらに扱いやすい疾患診断と治療評価に繋がりたい、と熱く語っていたのが印象的でした(写真左)。

また、重粒子線棟では、同所が誇る重粒子線がん治療施設(HIMAC)のイオン源部を見学し

しました(写真右)。県内で整備が加速されているBNCT(ホウ素中性子捕捉療法)と相まって、がん治療への光明を再認識しつつ、予定通り16時半に見学会を終え無事帰途につきました。



企業データベースを見直します

ひたちなかテクノセンターのホームページ(*)に掲載中の協議会会員企業紹介データベースを見直し改訂致します。すでに掲載中の企業におかれましては内容見直しの上、改訂案をご提示ください。また、新規掲載も受付致します。

対応期限は1月9日です。その他詳細につきましては、事務局からのお知らせをご参照ください。ご協力をお願い致します。

(*) : <http://www.htc.co.jp/>

会員(法人)異動のお知らせ

(H26年12月1日現在/敬称略)

◆ 新規入会 (合計会員企業数：224社)

・スリーワンデザイン株式会社

太田 勝也 (技術部)

〒305-00452 つくば市梅園2-5-3 梅園スクエアB101

電話：029-863-7915 FAX：029-863-7916

◆ 担当者変更

・助川電気工業株式会社

新担当者：小滝 理 (常務取締役営業本部長)

(電話、ファックス番号は変更ありません)

イベントのお知らせ

● BNCT(ホウ素中性子捕捉療法/東海村)・見学会

◆日時：未定・後報(平成27年1月下旬頃で調整中)

● 中性子利用技術講演会

◆日時：平成27年2月18日(水)、13:30開始予定

◆場所：未定・後報(つくば地区で調整中)